

あかねが丘学園移転

体育館の耐震化は困難

跡地利用は地元住民と検討へ

問 あかねが丘学園本校の学習拠点が生涯学習センターに移転した後跡地利用と、避難所である同学園体育館の耐震化について聞く。

答 あかねが丘学園校舎は老朽化が進んでいることに加え、市の東端に位置し、駅から遠く利便性が悪いという課題がある。この解決を図るために、学習拠点を生涯学習センターに順次移転しているところであり、来年3月には完了する予定だ。

同学園は災害時の避難施設として機能しており、文化・スポーツ活動等の拠点としても活用されている。



跡地利用の検討は住民参加で

また、体育館は築後43年が経過しており、耐震化を施しても耐用年数の延長が見込めないことから、耐震工事の実施は難しい。

問 あかし斎場「旅立ちの丘」火葬場棟の壁のひび割れと雨漏りについて、市の対応を聞く。

答 鉄筋コンクリート造の壁に発生しているひび割れの多くは、火葬炉機械室がある2階東面に集中し、幅は0.1から0.4ミリメートル程度で、漏水している箇所は約30カ所である。

あかし斎場火葬場棟

壁のひび割れと雨漏り原因の特定を進める

環境の変化が繰り返し加わったことなど多くの要因が重なった可能性がある。また、漏水の原因については、炉の稼働に伴う内外の気圧・温度差等が影響している可能性があると考えている。

現在、施工や設計に問題があったとは確認していないが、建物内部や施工管理資料等だけでなく、新たに外部からの調査も行い原因の特定を進めていく。

さらに、有識者等の専門家の意見を求めることも検討していきたい。

女性の活躍推進へ

平成27年度中に行動計画策定 職場の環境づくりに努める

問 本年8月に女性活躍推進法が成立したが、本市における女性の活躍推進のための取り組みについて聞く。

答 女性活躍推進法の成立により、国や地方公共団体、労働者30人以上以上の企業は、来年4月までに女性の活躍推進に向けた行

動計画を策定することが義務付けられた。本市としても、自らが規範となるよう率先して取り組み、本年度中には計画を策定したいと考えている。なお、計画には女性の管理職の割合などの数値目標を定めることが求められるが、現状では国の掲げる目標の30%には届かないことから、今後とも管理職にふさわしい女性職員を育成できる職場環境づくりに努



県立男女共同参画センターでは職業紹介も

問 全小中学校の教室にエアコンを設置する計画および予算等について聞く。また、エアコン設置に伴い、環境教育にどう取り組むのかを聞く。

答 エアコンの整備は、学校間の不均衡が生じないようできるだけ短

期間に実施したいが、財政的な観点から複数年度での整備を考えている。来年度は中学校での設置工事を行い、その後、小学校へも設置を進めていく考えだ。整備費用としては小中学校合わせて18億8千万円程度、運転経費は

い。

環境の変化が繰り返し加わったことなど多くの要因が重なった可能性がある。また、漏水の原因については、炉の稼働に伴う内外の気圧・温度差等が影響している可能性があると考えている。

現在、施工や設計に問題があったとは確認していないが、建物内部や施工管理資料等だけでなく、新たに外部からの調査も行い原因の特定を進めていく。

さらに、有識者等の専門家の意見を求めることも検討していきたい。

全小中学校にエアコン設置

まず来年度に中学校で工事

環境教育にも取り組む



火葬場棟の壁のひび割れ

年間6400万円程度を見込んでいます。

本市では、これまでも環境に配慮した生活について学び考える環境教育に取り組んできた。エアコン導入で子どもたちの学習環境を快適にし学習効率を上げるとともに、これを契機として、エネルギー問題や地球温暖化など子どもたちの環境への意識がより高まるよう、取り組んでいきます。

建設企業

常任委員長に聞く



建設企業常任委員会とは
道路や公園などの設備、住宅建築や開発などまちづくりに関すること、上下水道、交通政策などの分野を担当している委員会

さかぐちみつお
坂口 光男

在職3期。監査委員、総務常任委員長、中心市街地再整備等特別委員長などを歴任。64歳。

重点的に取り組む事項
まちづくりでは、西明石地域の活性化を目的とした交流拠点や駅周辺整備などの課題解決に向けた議論を進めるほか、生産緑地制度の導入を具体化していきたいと考えています。また、長年工事が進められてきた山陽電鉄連続立体交差事業については、本年6月20日から西新町駅付近の線路が高架に切り替わり、西新町駅はエレベーター等を設置したバリアフリー対応の高架駅として供用が開始されました。さらに、本年度は、合同供養墓地について基本計画の策定を行い、建設に向けた取り組みを進めていく予定です。

その他の課題としては、昭和40年代に多く建設された公共施設や上下水道管などが更新時期を迎えるため、その対応策が重要な課題と考えています。

委員長から一言
明石のまちが安全で安心な住みよいまちと感じていただけるよう、しっかりと議論を進めていきたいと思います。

生活文化

常任委員長に聞く



生活文化常任委員会とは
コミュニティや健康づくり、文化・スポーツ、環境、産業、そして観光振興などの分野を担当している委員会

おなかとしはる
尾仲 利治

在職8期。議長、副議長、監査委員、建設企業常任委員長などを歴任。68歳。

重点的に取り組む事項
コミュニティの推進については、協働のまちづくりを一層進めるため(仮称)明石市協働のまちづくり推進条例の制定に向けた検討を行っており、今年度には条例検討委員会からの提言を踏まえ、条例案の提出が予定されています。

産業振興の分野では、今年度から卸売市場は指定管理者制度を導入し、これまでどおり生鮮食品の迅速かつ安定的な供給と適正価格に設定できるように取り組んでいきます。また、今年のB-1グランプリで6位に入賞した明石焼をPRするなど、引き続き明石の魅力を全国に発信します。

委員長から一言
健康で安心して暮らせるまちづくり、明石のにぎわいづくりに向け、充実した審査ができるよう委員会の進行に努めていきます。また、市民が選ぶ明石のたからもの第1位である天文科学館が今年度開館55周年を迎えました。この機会にぜひ足をお運びください。